

ヨコヅナサシガメ、ヨツボシケシキスイを捕食す

新 家 勝

サシガメ類が食肉性であることはよく知られており、ヨコヅナサシガメが鱗翅類の幼虫を捕食することは本誌にも紹介されている(第9巻第1号)。庭のアラガシに放した本種の成虫がブランコケムシを捕食するのを筆者は目撃しているが、ヨツボシケシキスイの捕食を初めて目撃したので報告させていただく。

日時 1983. 4. 30 14:30

場所 川西市芋生

状況 クヌギの古木(台場樫)に群棲していたうちの1類が、口吻の先に黒いものをぶら下げている。よく見るとヨツボシケシキスイであり、肛門に口吻を突き刺されて死んでいた。ブランコケムシなど体の軟いものならどこへでも口吻を突き刺すことができるが、甲虫類など体の大部分が固い相手に対しては軟い部分である肛門や関節などを狙うものと思われる。どのようにして口吻を突き刺すのか、その瞬間を見なかったのが残念である。

宝塚でのトンボ5種の採集および目撃記録

新 家 勝

注目されることが多いトンボ5種について宝塚市内における最近の採集および目撃記録を報告させていただく。

(1) *Stylogomphus suzukii* Oguma オジロサナエ

1984. 7. 21 中山寺二丁目, 足洗川谷 (♂1頭採集)

羽化間もない未熟虫であり、水辺の草叢からふらふらと飛びあがった。この谷で生育したものであることは確実である。市内では立合新田、大原野等西谷地区の山間部に産することが報告されているが(宝塚のトンぼ, 1982), 市街地に極めて近接した場所での記録は初めてと思われる。雲雀丘、山本から川面にかけての他の谷川にも産することが予想される。

(2) *Ictinogomphus clavatus* Fabricius ウチワヤンマ

1979. 7. 15 売布四丁目, 菰池 (♂1頭採集)

1984. 6. 30 安倉北四丁目, 安倉上池 (2頭目撃)